

平成19(2007)年度 日本語研修コース報告

和田 礼子
(留学生センター准教授)

1. 第10期(2007年4月 2007年9月)コース概要

開講期間:平成19年4月16日(月)~平成19年9月14日(金)

開講時間数:8月3日まで授業は週に90分×10コマ。

9月3日からコンピュータ実習と修了レポート、発表資料作成のための
集中講義。

*日本語のレベルに応じて日本語会話1、または日本語会話2を受講した。

	月	火	水	木	金
8:50~10:20	*日本語 会話2	*日本語 会話2	*日本語 会話2	*日本語 会話2 異文化間 カウンセリング	*日本語 会話2
10:30~12:00	*日本語 会話1	*日本語 会話1	*日本語 会話1	*日本語 会話1	*日本語 会話1
12:50 ~14:20	異文化理解 1A	漢字		スピーチ	
14:30 ~16:00	* Word, Power point 実習、修了レポート作成(集中講義)				

使用教科書:『みんなの日本語初級』(スリーエーネットワーク)

『みんなの日本語漢字』(スリーエーネットワーク)

コース日程:

4月3日~6日 空港出迎え・会館入居

外国人登録・学内外の案内

4月3日~4月13日 プリセッション ひらがな、あいさつ指導

(センター教官指導のもと、チューターによる個別指導)

4月10日 全学留学生オリエンテーション

4月16日 研修コースオリエンテーション、日本語授業開始

4月26日 健康診断

5月30日~6月8日 麻疹のため休講

6月27日 オープンクラス(日本語授業の公開)

7月30日、31日 日本語能力試験4級(過去問題)実施

8月4日~9月2日 夏休み

9月3日~9月13日 集中講義

9月14日 ポスターセッション

9月18日~20日 発表部分のビデオ撮影、映像ファイル作成

2 受講生・授業について

研修コース受講者は大使館推薦国費研究留学生 11 名、交換留学生 1 名、県費留学生 1 名の計 13 名だった。11 名はひらがなから学習を始める初学者で、初級日本語会話 1 を、2 名は既習者だったため、初級日本語会話 2 を受講した。

初級日本語会話 1 のクラスでは基礎的な日本語の構造を理解することと共に運用力を高めるための活動も取り入れた。最終的な学習到達度は下位 2 名とその他上位に二分されたが、下位 2 名も規定の基準を超えており、全員がこのレベルを修了した。また、1 名を除いた全員に日本語能力試験 4 級合格相当の日本語力が認められた。

授業では日本語の基礎的な構造を理解すると共に、場面ごとの運用ができるよう、主教材に加え、他の初級用教科書から会話ストラテジーの練習部分を抜粋して、練習にあてた。特に中盤以降は、週に一度復習的な要素を加えつつ、運用力強化のための練習を行うなどコミュニケーションのための時間を意識的につくった。効果としては学生の授業評価で「授業でおぼえたことを毎日の生活で使えるようになった」と答えた学生が、前回より増えていることがあげられる。

・授業でおぼえたことを毎日の生活で使えるようになりましたか

前回(2006 年春)はい:33% まあまあ:44% ふつう:22% あまりつかえない:0

今回 57% 21% 7% 7%

また英語による異文化理解のためのクラスを従来週 1 コマから週 2 コマに増やし、これとは別に個別のカウンセリングの時間も設けた。カウンセリングの時間には、一人一人の留学生活への適応や、日本語学習に関するカウンセリングをはじめ、ポスター発表に向けたアドバイスをを行った。

このような取り組みの結果、授業評価の項目「日本の文化や日本人についてよく理解できるようになった」の評点が 3.8 から 4.0(5 段階評価)へとわずかながら上向いている。

3 ポスターセッション

ポスターセッションは昨年度に引き続き稲盛会館で行った。来場者は 117 名(鹿大学生:33 名、留学生 18 名、教職員:24 名、一般:42 名)だった。発表者は研修コース生に加え、中級、上級レベルの交換留学生、農学部で開講されている科学技術日本語の成果発表で、合わせて 18 名がポスター発表を行った。

従来 7 月にポスターセッションを行っていたが、前期途中の 6 月に麻疹による休講期間があったため、今年度は 9 月にポスターセッションを開催した。今回開催時期を 9 月に移行したことで、以下のようなメリットがあった。

- 1) 7 月は学期末の試験などと重なるため学生の負担が大きかった。
- 2) 従来、8 月、9 月の夏休みの期間にせき身についた日本語力が低下するという学生が多く見受けられたが、9 月にポスターセッションを行うことで、夏休みも日本語力が維持された。
- 3) ある程度構想が固まってから夏休みを迎えたため、資料収集などの準備に十分な時間が確保できた。

このことから、来年度以降もポスターセッションを 9 月に実施するといったスケジュールで研修コースをデザインすることとした。

第6回 ポスターセッション 名簿

(2007.9.14)

	氏名		所属学部	タイトル
研修コース生				
初級 1	DANG QUANG HUY ベトナム	国費留学生	農学部 (宮崎大)	「日本とベトナム くらべてみましょう」
初級 1	FALL JEAN セネガル	国費留学生	農学部 (宮崎大)	「旅行は べんきょうになる 読書もべんきょうになる」
初級 1	RAGAZA JANICE ALANO フィリピン	国費留学生	農学部	「おなか ぺこぺこ」
初級 1	MONTECLARO HAROLD MODOC フィリピン	国費留学生	水産学部	「うみは せいかつの すべてです」
初級 1	CALO ERWIN TABINAS フィリピン	国費留学生	工学部	「フィリピンの " Street Festivals" を していますか」
初級 1	SARNO BRIAN JOHN フィリピン	国費留学生	工学部	「ひがしの うみで なくした パラダイス」
初級 1	CHOUDHURY MALAY インド	国費留学生	水産学部	「インドー多様な文化がひとつになった国」
初級 1	KWATI LEONARD カメルーン	国費留学生	理学部	「カメルーン 小さな アフリカ」
初級 1	BOUQUET THOMAS PETER イギリス	国費留学生	理学部	「イギリス人にとって 家は 城です」
初級 1	AYE AYE MAW ミャンマー	国費留学生	農学部	「せかいで 一番大きい かねはどこですか」
初級 1	BENJAMAPORN WIRIYA タイ	交換留学生	農学部	「れいぎただしくて えがおのひとびとのくに" タイ"」
初級 2	ESPI MARQUES MIQUEL スペイン	国費留学生	農学部	「情熱の国 スペイン」
初級 2	ROCIO GIULIANA LEY YAMASHITA パルー	県費留学生	教育学部	「パルー：南アメリカの 楽しくて 素晴らしい国です」
日本文化・日本事情クラス				
初級 3	BADER JULIA ドイツ	交換留学生	法文学部	「ドイツ人からドイツ人まで」
初級 3	富丸 日天 ブラジル	県費留学生	法文学部	「ブラジルの地理」
中級 1	MELISSA EMILY BATT オーストラリア	交換留学生	教育学部	「オーストラリアに行こう」
上級	姜 垠汀 韓国	交換留学生	教育学部	「タルチュムと能」
大学院農学研究科 科学技術日本語クラス				
修士1年	RIZTYAN インドネシア		大学院農学研究科	「開発途上国における有望な畜産農場開発・経営のための意思決定支援システム：プロトタイプ」

4 研修コースの授業スケジュール

4 / 16 1 課	6 / 15
4 / 17	6 / 19
4 / 18	6 / 20 13 課
4 / 19 2 課	6 / 21
4 / 20	6 / 22
4 / 23 3 課	6 / 25 Joyful conversation
4 / 24	6 / 26 14 課
4 / 25 動詞練習	6 / 27
4 / 26 4 課	6 / 28
4 / 27	6 / 29 15 課
5 / 1 Joyful conversation	7 / 2 Joyful conversation
5 / 2 5 課	7 / 3 15 課
5 / 7	7 / 4 16 課
5 / 8 6 課	7 / 5
5 / 9	7 / 6 て形テスト
5 / 10	7 / 9 Joyful conversation
5 / 11 7 課	7 / 10 17 課
5 / 14	7 / 11
5 / 15	7 / 12
5 / 16 8 課	7 / 13 18 課
5 / 17	7 / 17
5 / 18 けいようし テスト	7 / 18 19 課
5 / 21 9 課	7 / 19
5 / 22	7 / 20
5 / 23 10 課	7 / 23 Joyful conversation
5 / 24	7 / 24 ふくしゅう
5 / 25	7 / 25 ふくしゅう
5 / 2 ふくしゅう	7 / 26 会話テスト
5 / 29 1 課 ~ 10 課テスト	7 / 27 11 課 ~ 19 課テスト
5 / 30 ~ 6 / 8 はしかのため休講	7 / 30 能力試験 4 級テスト
6 / 11 会話テスト 動詞テスト	7 / 31 能力試験 4 級テスト
6 / 12 11 課	8 / 1 ~ 8 / 3 ポスターセッション準備
6 / 13	夏休み
6 / 14 12 課	9 / 3 ~ 9 / 13 ポスターセッション準備
	9 / 13 ポスターセッション

5 学生による授業評価

今年度の研修コースの授業評価結果を以下に記す。数字は評点の平均である(5段階)。

<あなたについて >

- | | |
|----------------------------------|-----|
| 1 あなたは授業によく出席しましたか。 | 4.6 |
| 2 あなたはこの授業でたくさん勉強しましたか。 | 4.0 |
| 3 授業でおぼえたことばを毎日の生活で使えるようになりましたか。 | 4.3 |
| 4 日本の文化や日本人についてよく理解できるようになりましたか。 | 4.0 |

<授業について >

- | | |
|---|-----|
| 5 授業のスピードはどうでしたか。 | 4.0 |
| 6 学習量ははどうでしたか。 | 4.3 |
| 7 クラスの学生数はどうでしたか。 | 4.0 |
| 8 一週間の授業時間数はどうでしたか。 | 4.0 |
| 9 クラスの規則や成績のつけ方についての説明はどうでしたか。 | 4.0 |
| 10 このクラスの教材は全体としてよかったですか。(テキスト・ビデオ・ハンドアウト etc.) | 4.3 |
| 11 このクラスの教え方は全体としてよかったですか。 | 4.5 |
| 12 テストのやり方や宿題、レポートの直し方は全体としてよかったですか。 | 4.6 |
| 13 この授業は全体としてどうでしたか。 | 4.5 |

項目 3,4 については既に記述したように、前年度に比べ評価が上がっている。項目 6 の学習量については研修コース終了後、日本語の学習を継続できない留学生から、主教材である『みんなの日本語初級』をすべて終わらせたいといった要望も聞かれた。

6 まとめ

研修コース終了後、2 名が宮崎大学に進学した。後期、学生の日本語履修の状況は以下の通りである。

- | | |
|----------------|-------|
| 初級 2 を受講 | : 4 名 |
| 初級 2 と初級 3 を受講 | : 1 名 |
| 初級 3 を受講 | : 2 名 |
| 日本語クラスを受講せず | : 4 名 |

日本語クラスを継続しなかった理由は、4 名のうち 2 名は水産学部の学生で、キャンパスが離れているため、1 名は自国と日本の両方に研究のフィールドを持つため、1 名は指導教員の意向で研究に専念するためであった。

通常日本語初級 1 の修了生は初級 2 のクラスを受講するが、今回は初級 3 のクラスに飛び級で上がる学生が 2 名いた。一方、4 月の学期に初級 2 を受講した学生のうち 1 名は後期、本人の希望でもう一度初級 2 を受講した。後期の日本語クラスを継続した学生は、当該クラスの修了要件(出席率 80% 以上、期末テスト 60% 以上)を満たし、修了することができた。各留学生の事情により、日本語学習継続の可否が異なるが、学生ができるだけ日本語学習を続けたいと思うような基盤を、研修コースで培っていききたいと思う。

(留学生センター准教授)